

攻めの農林水産業の実現に向けて

革新的技術による「攻めのイチゴ生産実証」の取組について

今、攻めの農林水産業の実現に向けて、産学公の英知の結集により、従来の限界を打破する生産体系への転換が進められています。

本年度より農林総合技術センターでは、農林水産省委託プロジェクト研究の採択を受けた4つのテーマで、様々な先端技術を基に革新的な技術体系を組み立て、実際の生産現場での実証研究を進めています。本号ではその1つ「栽培施設リノベーションと6次産業化による攻めのイチゴ生産実証」の取組みについてご紹介します。

減少が続くイチゴ生産が攻めに転じるには、生産農家が高位生産を獲得するのみならず、新規需要開拓する6次産業化の展開により、地域産業として定着することが重要です。そこで、**リノベーション技術**（リフォームしつつ性能向上させる）を中心とした、簡易低コスト型の高度生産施設でのイチゴ12t/10a採り、及び高位生産能力を活かした新規加工品の開発による6次産業化経営を実証します。

また、成果の波及に向けて「攻めのイチゴ生産」のビジネスモデル化に取り組み、生産農家を対照とした現地検討会の開催を計画しています。

農林総合技術センターが中心となり、宇部工業高等専門学校、株式会社サンポリ、佐藤産業株式会社及び株式会社瀬戸内ジャムズガーデンによる産学公の連携協力により、大島郡周防大島町で実施しておりますので、今後の動向にご注目下さい。



耐風性と採光性の高いダブルアーチハウス、改良型「スライドらくラック」及び生育制御技術を組み入れたイチゴの高位生産を実証中です。

〈主な内容〉

『革新的技術による「攻めのイチゴ生産実証」の取組について』

～農業技術部園芸作物研究室～

◇各部の取り組み

『パン用小麦新品種「せときらら」の加工特性』

～本部食品加工研究室～

『ビール大麦「サチホゴールド」が新たに奨励品種に採用されました!!』

～農業技術部土地利用作物研究室～

『無核化に成功！カンキツ新品種「南津海シードレス」の育成』

～農業技術部柑きつ振興センター～

『プチシリーズ新品種デビュー』

～農業技術部花き振興センター～

『「緑の雇用」研修について』

～林業技術部林業研究室～

『やまぐち就農支援塾の研修について～農業研修部（山口県立農業大学校）の取組み～』

～農業研修部教務課～

パン用小麦新品種「せときらら」の加工特性

県ではH 27 年度から小麦の奨励品種「ニシノカオリ」を「せときらら」に全面的に切り替えます。今後、「せときらら」は学校給食にコッペパンとして提供されますが、コッペパンだけでなく、菓子パンやうどん麺、中華麺への幅広い用途への需要拡大も期待されています。そこで、センターでは「せときらら」の加工適性を明らかにするため、製パン性と製麺性について調査を行い、以下のような結果を得ました。

- 製パン性 グルテンを少量(0.5%)添加することによって強力粉並みの膨らみを得ることができ、製造後数日経ってもパサパサ感はありません。また、米粉入りでも、膨らみがよく、食味もよいことから製パン性に優れています。
- 製麺性 うどん麺は、グルテンを添加することで、のどごしのよい麺が作りやすく、中華麺は、加水量、グルテン量、かん水量の条件を変えることで実需者の要望に応じた麺が得やすいことから製麺性に優れています。

今後もより詳細な調査を続けるとともに、実需者と連携し「せときらら」の需要拡大につなげていきます。



「せときらら」の小麦粉を使用した製品

ビール大麦「サチホゴールド」が新たに奨励品種に採用されました!!

ビール大麦「サチホゴールド」は、栃木県で育成されたビール醸造適性の高い品種です。土地利用作物研究室では、現在栽培されている「アサカゴールド」の後継品種として奨励品種決定調査の中で、「サチホゴールド」の栽培特性を調査してきました。その結果、「サチホゴールド」は、「アサカゴールド」より2日程度早熟で、千粒重が重く、やや多収、外観品質も優れました。このため、奨励品種審査会で、奨励品種とすることに問題ないと判断され、平成26年10月20日に新たな奨励品種に決定しました。



奨励品種審査会での審議



新奨励品種「サチホゴールド」
左から粒、現地試験、立毛

平成27年産で種子の生産を行い、平成28年産からは、「アサカゴールド」に代わって「サチホゴールド」の栽培が本格的に始まる予定です。現在、土地利用作物研究室では、品種切替に向けて、栽培技術の確立のための栽培試験を実施しています。

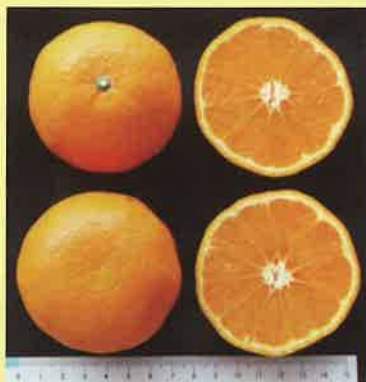
無核化に成功！カンキツ新品種「南津海シードレス」の育成

山口県周防大島町の農家が育成した「南津海（なつみ）」は収量がすぐれ、国産柑橘の少ない4～5月に出荷が可能のため、近年栽培面積が増加している品種の一つです。しかしながら、本品種は1果あたりの種子が4～5個程度含まれ、多いものでは10個以上有する果実もあり、市場や消費者の方から無核化の要望がありました。

このため、「南津海」の無核化に取り組み、極めて種子数の少ない「南津海シードレス」の育成に成功しました。本品種は種子数以外の形質、すなわち果実の大きさや色、形などの果実特性、葉の大きさや成熟期などの樹体特性については「南津海」とほとんど違いはありません。



「南津海シードレス」の結実状況



「南津海シードレス」



「南津海」

プチシリーズ新品種デビュー

花が小さく、フラワーアレンジ等にも使いやすい、やまぐちオリジナルユリ「プチシリーズ」に、新たに3品種が加わりました。平成26年9月5日に開催された産地化推進品種決定審査会において、新たに産地化推進品種として承認されました。承認された3品種は、花色がレモン色で葉色が濃く光沢もある「プチセレネ」、白色と濃ピンク色で今までにない複色系の「プチリアン」、オフホワイト色で花径が更に小さい「プチアンジェ」です。

それぞれの品種には既存のプチシリーズにはない特徴があり、併せて、球根の増殖率も高いことから、多くの期待が寄せられています。

現在、今秋の球根供給に向けて増殖中であり、早ければ、今年末には切り花が店頭デビューすることとなります。



品種	プチセレネ	プチリアン	プチアンジェ
花色	レモン色	白色+濃ピンク色	オフホワイト色
花径	11cm 程度	13cm 程度 (やや大きい)	10cm 程度 (小さい)
特徴	葉色濃く光沢有り 花弁が厚い	高温期ピンク色が薄色化 低温期は逆に濃色化	花が段咲きに着花 花粉が黄色

「緑の雇用」研修について

森林は現在、戦後に植林した木が育ち、利用できる段階になりました。しかし、安価な輸入木材が多く使われることで材価が下がり、林業経営が厳しい状況になっているため、森林の手入れが遅れがちになっています。この木を材木として安定して流通させるために、林業は今、森林で働く技能を有した担い手を必要としています。

「緑の雇用」は、未経験者の方でも森林の仕事に就き、林業に必要な技術を学んでもらうための制度です。

林業技術部では、山口県森林組合連合会の委託を受け「緑の雇用」研修の一部を実施しています。平成26年度は、1年目の8名に林業に必要な資格の取得、安全な作業の方法等、2年目の4名には、林業で使用する機械、手工具の手入れ等、3年目の4名には、効率的な林業機械の使用方法などの研修を実施しました。

林業の現場は経験が不可欠であり、今後研修生がそれぞれの事業体において、間伐などの森林整備推進の一翼を担って活躍することを期待しています。



やまぐち就農支援塾の研修について ～農業研修部（山口県立農業大学校）の取り組み～

農業研修部では、学生教育部門とともに社会人研修を中心とした「やまぐち就農支援塾」を設置し、各種研修を実施しています。このうち新規就農や法人就業を支援する研修では、①初心者対象の体験を中心とした「短期入門研修（平日5日間）」、②日曜日に開講し基礎的な技術習得を目指す「作目基礎研修（年15回程度）」、③1年間の研修を通じて本格的な就農・就業を目指す「担い手養成研修（給付金制度活用の可能性あり）」を作目毎に設け、新たな担い手の確保・育成に取り組んでいます。また、農業生産法人の経営の効率化・農作業安全の推進を図るため、段階的にフォークリフト、小型移動式クレーン等、各種農業機械研修も拡大しています。農業研修部では幅広いニーズに沿った研修カリキュラムを整備していますので、お問い合わせください。



フォークリフト運転技能講習

26年度の研修開催状況（H26年12月末現在）

研修名	受講者数	研修内容
短期入門研修 (第1回、第2回)	35名	園芸や畜産に関する農作業体験、基礎的な講義
作目基礎研修	70名	野菜、花き、果樹、肉用牛の基礎知識の講義及び栽培・飼養管理実習
担い手養成研修	15名	専門的な技術・知識の講義及び実習、農家研修（約1年間）

【お問合せ先】
やまぐち就農支援塾（県農林総合技術センター農業研修部）
TEL (0835) 38 - 0510



担い手養成研修(野菜)の実習風景

<山口県農林総合技術センター 企画情報室>

〒753-0231 山口市大内氷上1-1-1 TEL(083)927-7011 FAX(083)927-4386

URL http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a172010/00000001/index.html

※ 皆さまからの御意見、御要望をお待ちしております。